

# 輸入車10年前ニュース

Imported cars before ten years

# '97.5

10年前の5月11日、チェスの世界に衝撃が走った。「機械」であるコンピューターが「人間」の世界王者に勝ってしまったのだ。6番勝負でコンピューターの2勝1敗3分け。前年の雪辱を果たすべく、IBMがハードウェアを高速化した結果であった。ちなみに囲碁や将棋の世界では、10年後の現在に至るまで「人間」を上回る「機械」は出現していない。

資料提供：毎日新聞社



5/19

## ボルボC70クーペ予約開始

S70/V70をベースとする優美なクーペの予約受けがスタート。本国で4機種あるうち日本向けには最上位機種の「T-5」が選ばれ、240ps/33.7mkgを発揮する2.3ℓ直5ハイプレッシャーターボを搭載した。S70/V70よりいっそう華やかなインテリアを与えられ、価格は600万円と発表。実際のデリバリーは12月から行なわれた。しかしクーペは2001年をもって輸入を終了し、入れ替わりにカブリオレを導入。C70のCは「クーペ」と「カブリオレ」の両方の意味を持つ。



5/20



## VWシャランVR6登場

本国では2年ほど前にデビューしていたVWシャランが、右ハンドル仕様の準備を整えてようやく日本上陸を果たした。数多の日本製ライバルにも太刀打ちできる399万円という価格設定ながら、MPVらしからぬシャープなハンドリングと上質な乗り心地を両立。加えて170psの2.8ℓ V6がもたらすパワフルな走り、MPV百花繚乱の日本市場に欧州車の底力を示した。しかし2000年のフルモデルチェンジを機に輸入を終了。日本における「シャラン」の名は一代限りとなった。

5/21

## メルセデス米国工場が開所式

乗用車用としてはメルセデス初となる海外生産拠点がアラバマ州タスカルーサに完成。トヨタ流ジャスト・イン・タイム方式を採用し、近日中に新型SUV「Mクラス」の生産を開始すると発表した。溶接ラインや塗装ブース、最終組立ラインを備えるが、エンジンやトランスミッションといった基幹部品はドイツから供給を受けるため、操業開始時の現地部品調達率は65%とされた。現在は2代目Mクラスに加え、Rクラス/GLクラスの生産も担っている。



5/23



## 新型コヴェット上陸

14年ぶりにモデルチェンジした5代目「C5」コヴェットが登場。新設計のラダーフレームによりボディ剛性を大幅に向上させ、ギアボックスをリアに置くトランスアクスル方式の採用で重量配分も改善。「豪快さだけが取り柄」という一般的なイメージを覆すシャープなハンドリングを持ち味とした。日本仕様は350psを発揮する5.7ℓ V8に4段ATを組み合わせて530万円のバーゲンプライス。その後MTの「Z51」やコンバーティブルの追加等バリエーションを拡充し、2005年に「C6」にバトンタッチした。

5/26

## BMW5シリーズにワゴンボディを追加

E39型5シリーズに528iツーリングが追加された。セダンのリアオーバーハングを30mm伸ばし、スタイリッシュかつ実用的なワゴンボディを構築。荷室容量を確保するべくダンパーを水平近くまで寝かせた専用設計のリアサスペンションを持つ。価格はセダン比32万円アップの645万円。セダンとともども2000年の新エンジン採用にともない530iに進化した。このとき525iツーリングを追加している。2004年に現行モデルにバトンタッチ。



Photo=CG Library